

福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。

福山100教育
2016市制施行100周年から次の100年へ、さらにその先の未来へ向かって Point つなぎ・継続・積上げ
ESD 2観点
小中一貫教育

「小中一貫教育1・2・3」に「ESD2観点」を持って取り組むことで、
福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。

1 自ら考え学ぶ授業
2 「大好き！福山～ふるさと学習～」
3 市民一丸

手段

1 人格の発達や人間性を育む
2 「関わり」「つなぎ」を尊重できる個人を育む

目的

21世紀型“スキル&倫理観”を持っている
創造性、批判的思考・問題解決、意思決定、学習能力、コミュニケーション、ICT活用、市民性、個人的・社会的責任 等
協調性・柔軟性、リーダーシップ、チャレンジ精神、耐える力、グローバル社会を生き抜く高い志、人としての思いやり、感性 等

『福山100NEN教育』宣言

起点となる年、2015年(平成27年)は、「すべては子どもたちのために」、3つの転換(授業・組織・評価)を求め取り組んできました。転換の難しさを実感しながらも、それゆえに、「教育が福山の未来を創る」との思いと覚悟を強めた1年でもありました。

2016年(平成28年)、年頭に当たり、『福山100NEN教育』宣言をします。

“小中一貫教育1・2・3”に、“ESD2観点”を持った取組を、『福山100NEN教育』と、命名することとしました。福山市市制施行100周年から次の100年へ、更にその先の未来へ向かって、福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てることを、決意新たにめざすものです。

目的は、「変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる」ことです。福山に愛着と誇りを持つことも、ESDも、小中一貫教育も、全て、そのための手段です。

『福山100NEN教育』のPointは、「変化の激しい社会をたくましく生きる力=21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けて、“小中一貫教育1・2・3”に“ESD2観点”を持って、関連する様々な分野や取組を、「つなぎ、継続・積上げること」です。

言い換えれば、変化の激しい社会をたくましく生きる力を確かに付けていくために、これまでの取組を“ESD2観点”を持って整理し、45分・50分の日々の授業を中心に、全ての教育活動を、21世紀型“スキル&倫理観”でつなぎ、21世紀型“スキル&倫理観”の育成に向かった取組にして、継続・積上げていこうとするものです。

私たちは見ることのない次の100年へ向かう子どもたちが、たくましく生きている姿を描いて、私たちの今日が、更にその先の豊かな未来に繋がっていることを信じて、

『福山100NEN 教育』のスタートです。

2016年(平成28年)1月5日
福山市教育長 三好雅章